



1 / 小澤さんは普段、デザイン設計課で唯一の女性技術職として設計に携わっている。  
2 / 女性技術者の会「けんけんぱ」は、年2〜3回集まって交流(写真はこの会が発案したリフレッシュルームにて)。



# 01

株式会社 市川工務店  
小澤身友希さん (31)  
勤続 11 年目

## 悩みの共有から職場環境の改善を提案。

### ＼ 我が社の WLB /

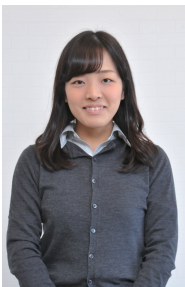
#### 育児休業取得者の会「はぐ組」

過去 10 年をさかのぼっても、出産や育児を理由とした退職者はゼロだが、さらに 2016 年から年 1 回、育児休業中の社員を対象に、同じく育休から復帰した社員との交流会を開催。先輩社員から保育園探しや復帰後の働き方などの経験談を聞けると好評。

#### 新たに特別休暇制度を導入

配偶者の出産に関わる入院や退院時などに 2 日間まで取得可能な「配偶者出産休暇」と、全社員を対象に誕生月内に 1 日休暇を取れる「パースデー休暇」を、2017 年 9 月から新設。ワーク・ライフ・バランスのさらなる促進を目指している。

### WLB 担当者メッセージ



総務部総務課 山本 紗佑里さん

職場や家庭の状況は、社員一人ひとりによって違うもの。そのため、一対一で取得可能な制度を説明するよう、心掛けています。制度の使い方について相談を受けることも多く、ていねいにアドバイスできる体制を整えています。

(株)市川工務店では、2015年から社内女性技術者7名を集めた会「けんけんぱ」を発足。参加メンバーは、独身者や育児経験者、入社時から技術職に就く人から、事務職を経験後に現場に配属した人など多岐に渡り、働き方やキャリアアップについて、部署を超えて意見交流ができる場になっています。

会のリーダーを務める小澤さんは、これまで会で挙げた女性ならではの悩みを取りまとめ、働きやすい環境づくりに向けた、様々な提案を行ってきました。例えば建設現場では、男性と離れた場所に女性専用トイレを設け、更衣室を確保。また、作業服の見直し

を提言したほか、昨年度はカフェのように寛げるリフレッシュルームを女性目線で考え、社内到新設しました。

「建設業は大変な分、手掛けたものが目に見えて形になっていく、やりがいや楽しさを感じられる仕事。会社も男女関係なく仕事を任せてくれるので、女性の力を活かして輝ける場所が必ずあります」と、建設女子を目指す女性たちにエールを送る小澤さん。「これまで、女性技術職で定年まで働いた前例はありませんでしたが、これから増えていく女性社員が心地よく働けるように職場を改善し、私たちがモデルケースになつていきたい」と、力強く話してくれました。